

教員インタビュー（後期課程）

島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

元々、東京都には島があり、いつか機会があれば島の学校に勤務してみたいと思っておりました。そんな中、初任のタイミングで人事の方から島勤務打診の連絡があり、学校や生活環境等について分からないことが多かったため、初めはとても悩みました。そこで実際に島に足を運んでみました。船を降りたときに、村民の方が声をかけて下さり、そのまま島で暮らすために必要な食料品売り場や施設を紹介しながら案内していただきました。海や山といった自然が好きなど、他のきっかけもありますが、今でも私の心の支えである、島での人との出会いが一番大きなきっかけです。

児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

とても良い印象を持っています。授業作りを行う際に、内地で行った教育実習ではクラス全員とどのように授業を進めていくかを考えていましたが、利島小中学校の先生方は、目の前にいる生徒により寄り添った授業作りをされていました。1人1人の児童・生徒に合わせた教育が行えることは理想的な姿だと感じています。

島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

地域の人との距離が近いことです。また、自然に囲まれ生活しているため愛情をたくさん受け取りみんな素直で優しい子たちです。その分プレッシャーを感じている姿や、内地と自分を比べた時に不安を感じている姿もみられ、内地の生徒とは違った悩みを抱えている姿もみられます。

仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

教員は時間に追われ、生徒と向き合える時間がへってしまう、という印象を持っていましたが、ここでは一つひとつの課題と向き合うことができ、しっかりと教材研究を行うことができ、とても恵まれているなと感じています。

島だからできたことがあれば教えてください。

生徒1人1人と向き合いながら授業づくりができることです。また、島での生活に必要な施設がすべて備わっているので、いろいろな施設を訪問する機会が多くあります。

日常生活での買い物はどうしていますか。

夕方早い時間にお店は閉まってしまうので、生鮮食品などは休憩時間にお店に行き買い物をしています。日用品は主にネットショッピングで購入しています。内地と比べ1日遅れくらいで配達してくれるので、特に不自由を感じることなく生活しています。

休日は、何をして過ごしていますか？

土曜日は陶芸・バドミントン、日曜日はテニスやバスケットボールに参加しています。他には、釣りや登山にも挑戦しています。夏になったら海にも入りたいと思っています。また、ご飯会に招かれ島民の方と楽しくお話しする日もあります。気分転換に出島する日もあり、休日はとても忙しく過ごしています。

島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

子どもたちがとても素直で優しく、自分の住む島が好きなところでは、いつも色々なお話をしてくれたり、図工では利島の風景を描いたり、とても素直に心を開いてくれます。初めて島を出て帰ってきた時、利島の山の形がとても愛おしく感じました。

島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

やりたいことと向き合えることです。

島への赴任を検討している方に一言お願いします。

今まで後回しにしていたがやりたかったことと向き合うには最高の環境だと思います。島ならではの教育について考えられる時間も多くあると思います。島での生活はとても楽しく、島に行く決断をして良かったと思っています。思い切って島に来てみるのもありだと思います！